

令和5年度 児玉郡市自立支援協議会（全体像）

資料 1

	事業項目	取組状況（令和6年1月現在）	結果及び評価	令和6年度の計画（案）
1	地域の障害福祉の資源の把握	<p>○郡内の障害福祉の資源の調査や情報の整理を行い、ふくしまップの情報更新をし、市町のHP掲載及び関係機関に配布した。</p> <p>○施設入所支援・グループホームの空き情報について毎月把握し、相談支援事業所へ情報伝達しサービス利用計画作成に役立てた。</p>	<p>○郡内の障害福祉等関係機関の情報のアクセスの向上及び利用者支援につながった。各市町ホームページや二次元コードを活用していく。更に工夫できることがあれば取り入れていく。</p> <p>○毎月の施設の空き情報の共有は、サービス向上に繋がるため継続する。</p>	<p>○障害福祉に関する資源の調査や情報の整理を継続する。</p> <p>○適正な情報提供のため、継続的に情報更新を行う。また、アクセスしやすい方法を検討する。（ふくしまップの表紙に二次元コードを記載、各市町ホームページ掲載）</p>
2	課題の抽出と対応策の検討	<p>○児玉郡市自立支援協議会全体会を開催。 *第1回協議会（7/3） サインレス導入後のアンケート集計結果及び計画相談導入率報告等より、障害者支援の向上のためサインレス等継続した工夫が必要であることの説明を実施した。計画相談導入率向上と事業所負担軽減のため行政においてサインレスを継続する事となった。また新規特定相談事業所の指定に向け、既存のサービス提供事業所や新規事業所設置相談時にアプローチした。 6月末時点での地域生活支援拠点の各市町での登録状況を報告した。また、基幹相談支援センター設置については契約に向けて調整中であることを報告した。</p> <p>*第2回協議会 書面開催（11/20） 各市町で作成中である『第7期障害者福祉計画・第3期障害児福祉計画』『児玉郡市障害者基幹相談支援センターの設置』について資料を配布、説明を実施して各委員から意見を頂いた。提出された意見を参考に各市町で計画の策定に取り組む。</p> <p>○全体会で確認された課題の解決につながる対応策及び各部会で継続的に取り組む課題について検討した。（*各会の取り組み内容については別紙参照。） *運営会議（6回） *相談部会（10回） *就労部会（5回）</p> <p>○自立支援協議会副会長を招いた意見交換会の開催（9/13） 郡市内において協議会が果たすべき役割や機能についての意見交換、地域に不足していると感じる社会資源について等の意見交換を実施した。</p>	<p>○各部会、全体会において地域の現状や課題を共有し、課題解決を検討し合うことで、効果的な会議の運営と一体的な事業実施が可能となり、障害者への支援施策（基幹相談支援センター設置へ向けた取り組み等）を推進することが出来た。</p> <p>○地域の情報や課題、取り組み内容等を各部会、全体会で共有できるよう、情報の共有化を図り、効果的な会議・事業運営が可能となりつつある。 また、相談支援専門員現任研修等受講者より、市町のHPで自立支援協議会の活動内容が把握できたとの声が届いており、会議の委員でなくても協議会の活動内容を把握していただくことができている、情報や活動内容の共有化が進んでいる。</p>	<p>○児玉郡市の障害者自立支援を推進するため、自立支援協議会を継続する。</p> <p>○現状分析や課題を把握し、課題を解決するための対応策としての事業を整理し、PDCAサイクルに沿った取組みを進める。</p> <p>○連携体制の強化推進に向けて、指定特定相談事業所、委託相談支援事業所、基幹相談支援センターの役割分担や事業整理等について自立支援協議会、行政とで綿密な連携を図り推進していく。</p>
3	地域の関係機関のネットワーク構築及び相談支援体制の充実と強化に関する事	<p>○新規事業所の紹介や情報交換・情報共有、関係機関との役割分担や事業の改善点等について取り組んだ。（*各会の取り組み内容については別紙参照。）</p> <p>○相談支援部会と就労支援部会合同での研修会や事例検討会議を開催し、情報交換や意見交換を行った。（10/16） （*各会の取り組み内容については別紙参照。）</p> <p>○児童福祉についての協議の場を目指して、放課後等デイサービス事業所連絡会議を開催した（9/21 12/19）。 （*運営会議資料参照）</p>	<p>○情報交換や意見交換を行う中で、互いの役割の確認や工夫点等について協議することができるとともに、顔の見える関係づくりも見えるなど連携体制強化につながった。</p>	<p>○様々な会議や意見交換等を通じてネットワーク強化を図るとともに、新たなネットワーク創出にむけて取り組む。</p>
4	困難事例への支援のあり方に関する協議及び調整に関する事	<p>○困難事例について相談支援部会と就労支援部会合同で事例検討を実施した。（10/16）</p> <p>○過去に事例検討を実施したケースについての進捗等の確認を実施した。</p>	<p>○多事業所、多数のメンバーによる多角的な視点による支援方法検討により、新たな支援の方向性が見いだせたり、関係機関との調整の困難性が低くなるなど人材育成へと繋がっている。</p>	<p>○地域の相談支援を行う人材の対応力向上のため、継続実施する。</p>